

施策名：人に優しい安全で安心な交通社会の実現

事業名	担当課・室名	ページ
高齢者交通安全対策推進事業	生活環境企画課	1 / 3
高齢者交通事故防止総合対策事業	交通企画課	1 / 3
交通事故総量抑止対策推進事業	交通企画課	1 / 3
認知症等早期発見支援事業	運転免許課	1 / 3
共生のまち整備事業	建設政策課	2 / 3
(単) 身近な道改善事業	道路保全課	2 / 3
交通安全事業	道路保全課	2 / 3
おもてなしの交通環境整備事業	交通規制課	2 / 3
交通安全施設整備費	交通規制課	3 / 3
交通事故遺児救済援護活動助成事業	生活環境企画課	3 / 3

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
1	高齢者交通安全対策推進事業 (H28～) 生活環境企画課 県内の交通事故が減少する中、高齢者が加害者・被害者となる交通事故割合は高水準で推移しているため、免許自主返納を促進するとともに、加害・被害交通事故の減少を図るため、免許自主返納支援制度の紹介や体験教育を行う。	①高齢者運転免許自主返納支援 1,035 ②体験型交通安全教育の実施 641	高齢運転者免許自主返納者数	目標値	4,250	4,300	4,350	高齢者の交通事故件数 [人]	目標値	1,550	1,500	1,450	A	
				実績値	4,677	5,671	—		実績値	1,392	1,203	—		
				達成率	110.0%	131.9%	—	達成率	110.2%	119.8%	—			
			交通安全体験講座参加者数	目標値	1,550	1,600	1,650	事業の成果・今後の方針 高齢者向けの交通安全教育については、歩行環境シミュレーター等を活用して日中や夜間等の条件下で道路を模擬横断できる体験型の教育を実施し、高齢者の交通事故件数の抑制が図られた。 令和2年度からは、運動能力や状況判断能力の低下を自覚できるクイックアームやクイックキャッチを活用した講座を実施するとともに、運転免許自主返納やサボカー等の購入を促進し、高齢者が関連する交通事故件数の削減を進める。						
				実績値	1,500	1,653	—	実績値	—	—	—			
	達成率	96.8%	103.3%	—	達成率	—	—	—						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
	予算	1,639	1,676	1,885	実績値									
	決算	1,627	1,676	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
2	高齢者交通事故防止総合対策事業 (H28～) 交通企画課 高齢者の交通事故防止を図るため、危険予測シミュレータ等を活用した安全教育を実施するとともに、高齢者運転者に対して運転免許の自主返納制度等の周知を図る。	①参加体験型講習機材による講習 1,255 ②高齢運転者に免許自主返納手続制度等の情報を提供するまごころ宅配便事業 2,327 ③老人クラブ連合会と連携して交通安全指導を実施するシルバーサポート事業 888	参加体験型講習機材による講習回数	目標値	360	360	210	高齢者交通事故死傷者数 [人]	目標値	1,091	1,073	970	A	
				実績値	403	403	—		実績値	879	736	—		
				達成率	111.9%	111.9%	—	達成率	119.4%	131.4%	—			
			80歳以上の免許更新予定者への発送件数	目標値	13,366	13,629		事業の成果・今後の方針 高齢者に対し、加齢に伴う身体機能の変化や道路横断時の危険性について、参加・体験型の講習を通じて理解を深め、高齢運転者の運転免許証自主返納手続の促進を図った。高齢化の進展に伴い、交通事故全体は減少傾向にあるものの高齢者死亡事故や交通事故の割合が増加傾向にあるため、今後は、交通事故分析に基づき、交通事故多発箇所周辺における街頭啓発、参加体験型交通安全教育の充実、高齢者が多く訪問する場所・関係する機関・団体に協力を求め広報啓発活動を行い、交通安全意識の醸成を図り交通事故防止に努める。						
				実績値	12,464	12,918		目標値	30,500	15,000	15,000	実績値	29,883	22,265
	達成率	93.3%	94.8%		達成率	98.0%	148.4%	—						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	交通安全シルバーサポート活動個別指導数	目標値								
	予算	5,472	5,571	3,243	実績値									
	決算	5,190	4,487	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
3	交通事故総量抑止対策推進事業 (H28～) 交通企画課 交通事故総量を抑止するため、交通安全広報・教育を通じて県民全体の交通安全意識の高揚を図る。	①大分県運転マナー・横断マナー向上のための広報啓発活動 10,690 ②速度違反取締装置の整備 5,498 ③交通安全指導のための幼稚園等訪問活動 1,080	県民との協働による街頭啓発活動実施回数	目標値		180		交通事故死傷者数 [人]	目標値	6,141	4,638	4,538	A	
				実績値		331			実績値	4,648	3,806	—		
				達成率		183.9%		達成率	124.3%	117.9%	—			
			可搬式速度違反取締り実施回数	目標値	24	24	24	事業の成果・今後の方針 道路横断中の交通死亡事故が多発していることから、各種広報媒体を活用した運転マナー・横断マナー向上のための広報啓発活動及び交通関係団体と協働して交通安全活動を推進した。今後は、更なる交通事故全体の総量を抑止するため、交通事故分析に基づく、時間、場所、形態等を考慮した施策や事故多発路線、事故多発エリアにおける街頭啓発活動及び交通指導取締りを行うとともに、広報啓発活動や交通安全教育等を推進し、県民一人一人の安全意識の高揚を図る。						
				実績値	21	77	—	目標値	179	90	186	実績値	176	90
	達成率	87.5%	320.8%	—	達成率	98.3%	100.0%	—						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	幼稚園訪問活動実施回数	目標値								
	予算	6,928	26,000	45,074	実績値									
	決算	6,927	25,592	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
4	認知症等早期発見支援事業 (H28～) 運転免許課 認知症等の早期発見・対応により、高齢運転者の交通事故防止を図るため、免許更新時等に医療的側面から症状の把握、相談等の支援を行う保健師を運転免許センターに配置する。	①保健師等(非常勤職員)3名の配置 8,552	質問票による個別聴取件数	目標値	800	800	800	受診奨励、自主返納、支援センター等引継件数 [件]	目標値	750	750	750	B	
				実績値	1,000	905	—		実績値	666	675	—		
				達成率	125.0%	113.1%	—	達成率	88.8%	90.0%	—			
			認知機能検査第1分類対応件数	目標値	800	800	800	事業の成果・今後の方針 運転適性相談については、これまで身体の障がいや一定の病気を有する本人からの相談に対応してきたが、度重なる高齢者の重大事故の発生を受け、令和元年11月から、これまでの運転適性相談の名称を安全運転相談に変更するとともに、本人及びその家族等からの相談についても受理することとなった。これにより令和元年度は相談受理件数が大幅に増加した。今後も更なる相談の増加が予想される。						
				実績値	1,422	1,114	—	目標値	400	400	800	実績値	376	1,178
	達成率	177.8%	139.3%	—	達成率	94.0%	294.5%	—						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	一定の病気等に係る運転適性相談件数	目標値								
	予算	8,483	8,552	8,723	実績値									
	決算	8,435	8,439	—	達成率									

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針						
5	共生のまち整備事業 (H3 ~) 建設政策課	①歩道等改良 段差解消、歩道面改修、側溝蓋設置、障害物撤去・移設等 ②県有施設改修 スロープ化、多機能トイレ、手すり等設置等 ③交通環境整備 視覚障害者用音響装置、経過時間表示装置	高齢者、障がい者等にとって社会活動への参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となった。 今後も県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進する。						
	すべての県民が自立していきいきと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことを目的に、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化を推進する。	共生のまち整備事業による歩道の整備延長 (単位: km)							
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標の達成度	事業開始年度 (3年度)	現況値 (30年度)	予算年度 (R1年度)	事業最終年度
	予算	80,000	80,000	80,000	計画 a	249.5	249.5	249.5	249.5
	決算	80,000	80,000	-	実績 b	0.0	220.0	221.9	-
				b/a (%)	0.0	88.2	88.9	-	

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
6	(単)身近な道改善事業 (H25 ~) 道路保全課	800,000	着手箇所数 [箇所]	目標値	120	120	120	完了箇所数	目標値	1,080	1,180	1,280	B		
	実績値			108	109	-	実績値		999	1,063	-				
	達成率			90.0%	90.8%	-	【累計：箇所】		達成率	92.5%	90.1%	-			
	区分			平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
	予算			800,000	800,000	800,000	実績値				地域住民からの要望に迅速に対応しており、要望箇所については、今年度109箇所の対策を行った。 当該事業に対する地元要望は多く、今後も引き続きそのニーズにきめ細かく応えられるよう取組を推進する。				
決算	800,000	800,000	-	達成率											

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	事業の成果・今後の方針					
7	交通安全事業 (~) 道路保全課	①(公)交通安全事業 歩道、自転車歩行者道、交差点改良等 ②(単)交通安全事業 道路付属物の整備、交通安全施設の維持・補修、カラー舗装等の交通弱者事故対策 ③(単)側溝整備事業 排水溝未整備箇所の整備、排水溝の断面改修、流末修繕等	「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、通学生をはじめとする歩行者等の安全の確保と交通事故防止対策を実施した。 (翌年度繰越額 2,018,534千円)					
	道路利用者の安全を確保するため、防護柵や道路標識、道路照明などの交通安全施設の新設および維持補修を実施する。	路線等の概要						
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	事業名	区分	令和元年度事業実施路線	事業箇所数
	予算	3,355,189	4,675,729	4,449,300	(公)交通安全事業	交通安全	国道213号ほか32路線	全37箇所
	決算	2,106,077	2,657,195	-	(単)交通安全事業	交通安全2種	国道197号ほか県内一円	県内一円
					交通安全施設維持	国道197号ほか県内一円	県内一円	
				(単)交通安全事業	弱者事故対策	国道197号ほか県内一円	県内一円	
				(単)側溝整備事業	側溝整備	国道213号ほか県内一円	県内一円	

No.	事業名・事業概要・予算額	主 な 事 業 内 容	活 動 指 標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
8	おもてなしの交通環境整備事業 (H30 ~ R2) 交通規制課	①摩耗した横断歩道等の更新整備 59,244 ②英語併記の信号機地名板の設置 6,000	横断歩道更新数 [km]	目標値	72	57	53	交通事故死傷者数	目標値	6,141	4,638	4,538	A	
	実績値			93.8	60.3	-	実績値		4,648	3,806	-			
	達成率			130.3%	105.8%	-	【人】		達成率	124.3%	117.9%	-		
	区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	英語併記信号機地名板設置数	目標値	30	30	事業の成果・今後の方針				
	予算		100,531	78,234	71,408	[箇所]	実績値	49	40	令和元年度は、ワールドカップ大分開催に備え、摩耗した横断歩道等の更新のほか、信号機に共架する地名版を英語併記により整備し、来県する観光客等に分かりやすい交通環境の提供及び交通事故防止を図った。 本年度は、平成30年度から3箇年計画で実施している摩耗した横断歩道等の更新整備を推進し、安全で快適な交通環境を整備する。				
決算	91,163	76,390	-	達成率	163.3%	133.3%								
				目標値										
				実績値										
				達成率										

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
9	交通安全施設整備費 (S46 ~) 交通規制課 道路交通の円滑化を図り、安全を確保するため、信号機や道路標識など交通安全施設の整備を行う。	①信号機の改良 310,655 ②交通管制の整備 233,300 ③信号機の新設 108,160 ④道路標識の整備 47,868 ⑤信号機電源付加装置の整備 19,984	指定路線の信号機新設数	目標値	21	24	8	交通事故死傷者数 [人]	目標値	6,141	4,638	4,538	A		
				実績値	21	24	—		実績値	4,648	3,806	—			
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	124.3%	117.9%	—			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	73	300	300	事業の成果・今後の方針 信号機の新設や道路標識等交通安全施設の整備を推進し、道路交通の円滑化及び交通事故防止を図った。 引き続き、安全で安心な交通社会の実現のため、交通環境の変化に対応した交通安全施設整備の取組を推進していく。				
			予算	768,120	860,486	890,763	実績値	73	332	—					
	決算	766,583	851,540	—	達成率	100.0%	110.7%	—							
					信号機電源付加装置整備数	目標値	8	8	20						
					実績値	8	8	—							
					達成率	100.0%	100.0%	—							

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	事業の成果・今後の方針	
10	交通事故遺児救済援護活動助成事業 (S48 ~) 生活環境企画課 交通事故で親を失った子ども（交通遺児）を支援するため、大分県交通事故遺児等援護基金を財源とし、大分県交通安全推進協議会が実施する交通遺児救済援護事業に対して補助する。	①大分県交通安全推進協議会補助 大分県交通安全推進協議会が実施する交通遺児救済援護事業に対する補助 ②大分県交通事故遺児等援護基金積立金 大分県交通事故遺児等援護基金への積み立て	大分県交通安全推進協議会が交通遺児へ給付する小中学校入学祝金、修学旅行助成金や中学校卒業祝金等の救済援護事業に対して補助し、令和元年度は50人に支給した。 引き続き、交通遺児が健やかにたくましく成長できるようこの取組を継続する。	
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	決算	11,873	11,275	10,273
	11,873	11,274	—	